

知事2期3年目の振り返り

2つの歴史的課題に敢然と立ち向かい、「日本一暮らしやすい埼玉」へ

2つの 歴史的課題

人口減少・超少子高齢社会の到来

激甚化・頻発化する自然災害など危機への対応



強い経済の構築



人口減少・超少子高齢社会
におけるまちづくり



環境と経済の両立



こどもまんなか社会の
実現



自然災害など危機への
対応



暮らしの安全・安心の
確保

ほか

日本一暮らしやすい
埼玉へ

① 強い経済の構築

渋沢MIX

◆ 渋沢MIXの実績

7月25日にオープン1周年を迎え、イノベーション創出拠点として着実に実績を積み重ねている。

会員数 **1,003 者** 施設利用者 **17,290 人** (R8.7.31時点)

イベント開催数 **251 件** 専門人材への相談数 **625 件** マッチング数 **150 件**

出会い、つながり、共創する
イノベーション創出拠点



◆ 3つのコンセプトに基づくプログラムによる成果

① オープンイノベーションの創出・促進

▶ オープンイノベーションプログラム「Canvas」

県内中堅・中小企業を含む15件(30社)の共創プロジェクトを創出



② スタートアップの創出・成長支援

▶ スタートアップ創出・成長支援プログラム「S4」

30者の起業・成長支援を実施し、サービスの提供開始や資金調達等を実現



③ イノベーションを担う人材の育成

▶ 大学生向け起業伴走プログラム「GAKU∞STA」

10チームのビジネスアイデアの事業化を支援し、プロトタイプ制作を実現



◆ 渋沢MIXをハブとした海外連携

スタートアップ等と海外企業との協業促進に向け、ドイツ、シンガポール、中東などの海外支援機関等と連携したセミナーやピッチイベント等を実施



企業誘致

企業立地実績 (R7年度)

◆ 立地件数

55件 (目標50件)

◆ 投資総額

約**1,221億円** (計画ベース)

◆ 新規雇用

817人 (計画ベース)



企業立地セミナーin大阪

本社移転企業調査

転入超過数* **全国1位** (令和7年)

* 県内に転入した企業数から県外に転出した企業数を差し引いた数

出典：埼玉県・本社移転企業調査 (令和7年)
(株)帝国データバンク 大宮支店

埼玉県サステナブル企業認証制度の創設

令和7年10月、持続可能な経営
(サステナブル経営)に取り組む県内
中小企業を県が認証する制度を創設



埼玉県
サステナブル企業認証
GOLD

現在、令和8年度の申請受付中

8月17日(月)～9月25日(金)



第1回認証書交付式 ゴールド認証7社
(令和8年4月)

① 強い経済の構築

価格転嫁の円滑化に向けた全国初の取組

- 令和4年9月、産・官・金・労12者による「価格転嫁の円滑化に関する協定」締結

「価格転嫁の埼玉モデル」が全国に波及
(R8.7.31時点)

- ①協定: 43都道府県
- ②価格交渉支援ツール
: 39道府県が本県にリンク設定
: 74,764回ダウンロード
- ③収支計画シミュレーター: 12,461回ダウンロード



- 令和8年2月「埼玉県適正取引情報共有ネットワーク」の立ち上げ

受託取引に関する悩み

- ・ 価格協議に応じてもらえない
- ・ 工賃がずっと変わっていない
- ・ 期日を過ぎても代金を支払ってくれない 等

身近な相談支援機関で適正取引に関する相談を受付: 53回 (R8.7.31時点)

ワンチームで価格転嫁を含む適正な取引を推進



若者向け就職支援「AIたまキャリア」

進化する「AIたまキャリア」

- AI適職診断により、自分に適した業種や職種、県内企業を探せる
- インターンシップ申込機能で県内企業の若手人材確保を支援
- 若者向け就職支援情報を集約しワンストップで提供
- 登録数: 413人、794社 (R8.7.31時点)



埼玉県シニア人材バンク

スキル・ノウハウを持つシニア人材と経営課題の解決を目指す県内企業をマッチングするサイト

特徴

- ・ シニア人材の経歴や専門領域などを掲載
- ・ 県内企業の事業概要や経営課題などを掲載
- ・ シニア人材・県内企業が掲載情報を閲覧し、オンライン上でマッチング
- ・ 登録数: 221名、120社
- ・ マッチング成立: 22件 (R8.7.31時点)



② 不断の行財政改革

DX・TXで業務のあり方を変革

TX(タスク・トランスフォーメーション)

デジタルで業務を変革し、生み出した
時間を組織的に計画・管理・活用

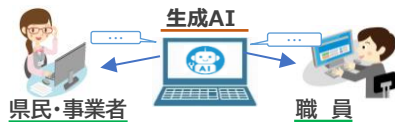
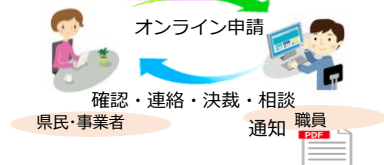
時間を生み出す

デジタルを前提とした業務への変革

申請手続のデジタル完結化

R5:3事務16手続→R8:17事務84手続(予定)

RAGを活用した生成AI等による
申請・相談のデジタルサポート



時間を活用する

生み出した時間を未来への資産として
組織的に計画・管理・活用

令和7年度実績
45,266時間

デジタルでつながる

未来型オフィス整備(ウェスタ川越)



税源の偏在是正に向けた国への要望

東京都に隣接する三県(埼玉県、千葉県、神奈川県)等による要望

東京都との行政サービス格差等の要因となっている税源の偏在を是正するため、特に影響の大きい近隣三県等による要望を実施

令和8年度与党税制改正大綱(抜粋)

特に偏在度の高い地方法人課税における税源の偏在を是正する追加的な措置として、新たに法人事業税資本割を特別法人事業税・譲与税の対象とするとともに、所得割・収入割に係る特別法人事業税・譲与税の割合を高めるなどの措置を検討し、令和9年度税制改正において結論を得る。

令和8年度与党税制改正大綱に示された具体的な取組を実現すべく、
三県等による要望を引き続き積極的に実施

4月13日
片山財務大臣



4月13日
林総務大臣



4月23日
小野寺自民党税制調査会長



6月29日
木原内閣官房長官



③ 人口減少・超少子高齢社会におけるまちづくり

埼玉版スーパー・シティプロジェクト

▶▶▶ 令和7年度 全63市町村が参画

企業との連携を強化し、持続可能なまちづくりを推進

1 マatching支援

市町村の地域課題と企業のソリューションをマatching

① ビジネスピッチ

- ・7月31日開催
- ・企業9社が地域課題解決に資する技術やサービスを市町村へ提案
- ・214人が参加し、企業と市町村が交流

企業→市町村



ビジネスピッチ(渋沢MIX)

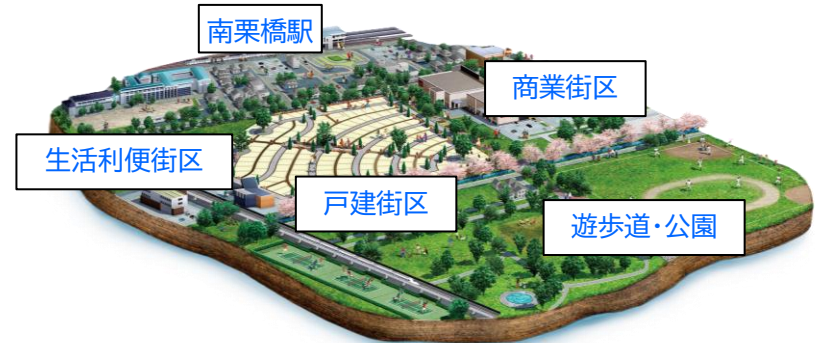
② ガバメントピッチ

- ・8月28日開催予定
- ・市町村が地域課題やニーズを企業にプレゼン後、交流会を実施

市町村→企業

2 官民連携事例 ～久喜市・南栗橋～

産官学連携により、住宅・商業施設・公園などの都市機能を集積した持続可能なまちづくり



④ 環境と経済の両立

サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブの推進により環境と経済の両立へ

サーキュラーエコノミー（循環経済） 生産活動、消費活動などあらゆる段階で資源を効率的・循環的に利用する経済活動

◆サーキュラーエコノミー推進センター埼玉（R5.6.15設置）

相談 1,526件

マッチング 240件

※設置からR8.7.31までの実績

<マッチング支援による製品化例>

桐箱の製造時に発生する廃材を
江戸木目込人形の原料として有効活用



◆リーディングモデルの構築

・スタートアップ企業等によるビジネスプランコンテスト「CSUP」を開催(R6~)

・サーキュラーエコノミーに取り組む企業向け

3種の補助制度の実施

合計10件採択(R8年度)

<補助採択例>

力カオ殻を活用した石鹸
製品の開発



・リチウムイオン電池の広域回収・再資源化モデルの構築(R5~)

令和5年度(2市と連携)
令和6年度(5市と連携)

分別回収と再資源化の
実証試験

令和7年度(6市と連携)

分別回収や効果的広報の
マニュアル作成

令和8年度 全県展開へ
市町村向けに
マニュアル説明会・
意見交換会実施

ネイチャーポジティブ（自然再興）

生物多様性の損失を止め、
自然を回復軌道に反転させる取組

◆ネイチャーポジティブ(NP)推進分科会（R7.4.1設置）

・NP経営や先進事例等のセミナー開催(7/17(金)128名参加)

・企業・市町村等のマッチング支援

マッチング 4件

※設置から
R8.7.31まで
の実績



<マッチングの例>

市管理の桜並木での
クビアカツヤカミキリ対策



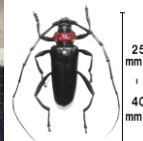
◆危険鳥獣及び特定外来生物への迅速な対応

・埼玉県クマ対策パッケージ

緊急銃猟想定訓練や緩衝帯整備 等

・クビアカツヤカミキリの全県的な緊急防除

大型補正予算による広域的な防除実施



⑤ 女性活躍の推進

県庁における女性活躍の推進

誰もが働きやすい職場づくりと職域拡大

- ・ 仕事と生活の両立支援や知事メッセージによる職員の意識改革を推進
- ・ 全部局に女性課長を配置するなど多様なキャリアパスを提示

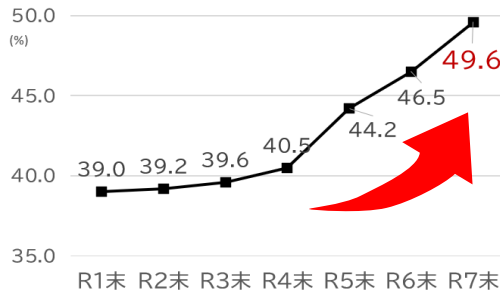
女性のキャリア形成における不安解消や意欲向上もサポートすることで
ありたい姿の実現を後押しし、女性活躍を推進！

女性管理職の割合

令和5年度 **13.8%** → 令和8年度 **16.5%** (過去最高を更新)

審議会などの委員に占める女性の割合

年々向上し、令和7年度末は**49.6%**に



- ・ 就任時(令和元年度)から **10.6ポイント増**
- ・ 令和7年度内閣府調査結果 **全国2位***

* 法令設置の審議会等に限る (本県46.3%)
R7.4.1時点

ジェンダー主流化の取組

ジェンダー主流化を県の施策に反映させ、埋もれていた男女各々の視点を取り入れた取組を進め、**誰もが暮らしやすい埼玉県**を目指す

令和5年度 試行点検

モデル事業で点検を試行

- ①ジェンダーの視点に立った災害対応
- ②新規農業者の育成・確保
- ③都市公園施設の整備 など

令和6年度 全庁点検

約700の政策的事業を点検

令和7年度 支援ツールの作成

職員が自立的に取り組むための
ツールを用意



手引書
(解説書)



チェックポイント

令和8年度

市内の自立的取組
全県への取組拡充

1) 市内の自立的取組

- ①新規・重点施策の立案時
 - ②条例及び規則の新規制定時
- ジェンダー主流化視点での確認を行う

2) 全県への取組拡充

- ①市町村向けセミナー・出前講座の実施
- ②企業向けセミナーの実施

「日本学術会議公開シンポジウムで講演」



(テーマ)
「今こそジェンダー主流化を」
(開催日)
令和8年2月28日
(開催場所)
日本学術会議講堂

⑥ こどもまんなか社会の実現

埼玉県こども会議

グループごとにテーマを設け、意見やアイデアを話し合い、11月に知事に発表する。(全4回)

【令和7年度会議テーマ】

- ・こども向けの広報について
- ・学校部活動の地域クラブ活動への移行
- ・ペットの終生飼養について



このほか「さいたまけん★こどものこえ」でこどもたちから意見を聴取

こども版 彩の国だより

小学生向け広報紙「こども版 彩の国だより」を創刊



恋たま

結婚を希望する独身男女に出会いの機会を提供する
埼玉県の公的な結婚支援センター



累計成婚退会組数 726組(R8.7.31時点)
5年連続で100組以上が成婚！

成婚が700組(1,400人)を突破したことを記念し、
20代限定利用登録料無料キャンペーン実施中！！

イメージキャラクター
たまさち・むせんせい

県立学校の空調設備整備

全ての県立学校の空調整備を実現（整備完了目標:令和15年度）

区分		整備完了目標
体育館	防災拠点校 特別支援学校 高校	令和8年度 令和12年度 令和15年度
選択・特別教室	高校	令和15年度

県立特別支援学校の過密対策

障害のある児童生徒の教育環境の充実

事業内容	設置場所(開校・供用予定年度)	受入規模
新校設置	県西南部地域特別支援学校(仮称)(R11) 県東部地域特別支援学校(仮称)(R12)	150人 250人
既存校の増築	川口特別支援学校(R10)※R8に1棟供用済 上尾かしの木特別支援学校(R13)	192人増 120人増
既存校の改築	和光南特別支援学校(R12) 大宮北特別支援学校(R14) 浦和特別支援学校(R15・R18)	160人増 110人増 120人増

⑦ 県の魅力向上・魅力発信

県産農産物の躍進

「いちご」「梨」などの県産農産物が、引き続き高く評価されている

- ・「あまりん」など県育成いちご品種が、全国選手権で最高金賞を6度受賞！
- ・全国唯一の「プレミアムいちご県」



- ・「彩玉」をはじめとする県産梨が、全国選手権で3年連続の最多受賞！



※全国選手権は日本野菜ソムリエ協会主催

埼玉県文化アプリ「ぶんたま」

県内の多彩な伝統芸能（獅子舞、お囃子など）や生活文化（茶道や華道など）を紹介し、現地での鑑賞や体験につなげるためのアプリ「ぶんたま」を開始。



【これまでの実績】

・ページビュー数 110,000PV ・アプリ利用者数 3.5万人 （R8.7.31時点）

【令和8年度の取組】

- ・スタンプラリーの開催（開催中）
- ・フォトコンテストの開催（10月から）
- ・音楽や演劇など情報掲載分野の拡大（10月から）



ネーミングライツ

ネーミングライツを通じた官民連携で
施設をより魅力的に！県民サービスを向上へ！

【ネーミングライツを導入した施設】

30施設（R8.7.31時点）

【ネーミングライツパートナー】

38法人等（R8.7.31時点）

【導入した施設の例】

- ・多様なイベントが開催される施設
- ・緑や花があふれる公園
- ・青少年の育成を支援する施設
- ・治水、利水に活用できる調節池
- ・交通の安全性を高める歩道橋



⑧ 自然災害など危機への対応

埼玉版FEMA

平時から様々なシナリオを作成し、訓練を繰り返すことで、関係機関との強固な連結を推進

● シナリオに基づく訓練

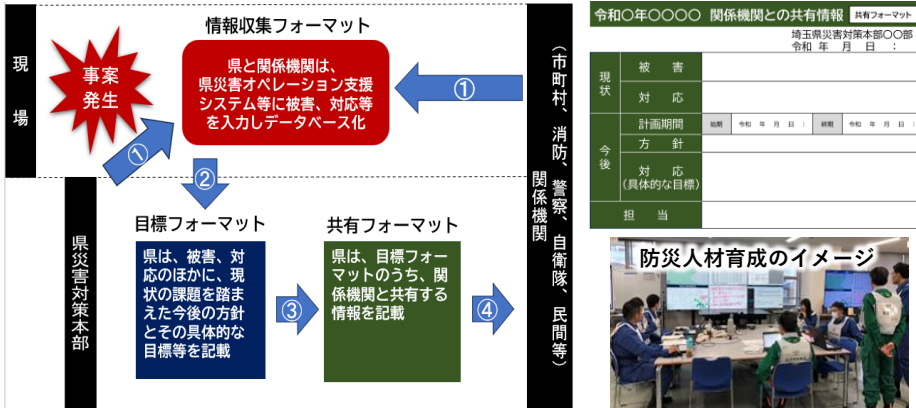
- 令和2～7年度までに風水害、地震、国民保護等で**34回**実施
消防、警察、自衛隊、ライフライン等約**1,600**機関**2,700**人が参加

● 新たなフェーズとしてプロトコールを策定

- 関係機関との迅速な情報共有や戦略的な目標設定等のため、
危機・災害対応**プロトコール(手順書)**と**フォーマット(様式)**を策定

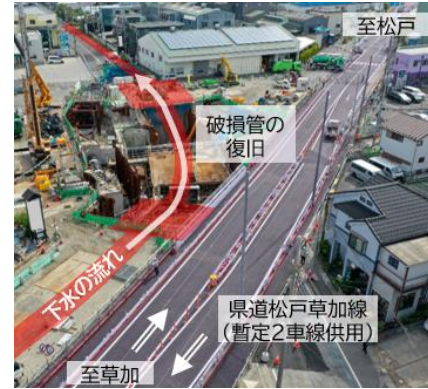
【プロトコールの流れ】

【フォーマット】



防災人材育成研修で、シナリオやプロトコールを職員に浸透

八潮市道路陥没事故への対応



● 経緯

令和7年1月28日 事故発生
令和8年2月16日 新設管の供用
令和8年4月15日 県道の暫定2車線供用

● 今後

他のインフラ復旧、埋戻し
レジリエンスの強化 (複線化)

● 教訓・課題を全国に発信

点検調査、改築更新、費用負担
→ **下水道法等の一部が改正**
(令和8年7月23日公布)

一般国道140号(大滝トンネル)の暫定供用

- 国道140号(秩父市大滝地内)で**令和7年7月、9月に落石が発生**
- 建設中の**大滝トンネルを迂回路として暫定供用**し、長期の交通寸断を回避



迂回路のない現道区間で落石発生



暫定供用状況

⑧ 自然災害など危機への対応（中東情勢）

国や他自治体に先駆け、中東情勢に関する県内事業者への支援を的確に実施

3月

特別相談窓口の設置

国や他自治体に先駆け、**県内87か所**
(県や商工団体などの支援機関)
に**特別相談窓口を設置**

R8.8.19時点

相談件数
700件

7月

中小企業DX導入支援補助金



R8.7.31時点

◆補助率:3/4
◆補助額:7.5万円~300万円
7月1日~9月30日まで受付中

申請件数
132件

4月

資金繰り支援(県制度融資)

国際情勢や経済情勢の急激な変動に対応して、
機動的に資金繰り支援を強化するために、
経営あんしん資金【経済変動特例】
を**4月1日から受付開始**

R8.7.31時点

融資実績
185億円

9月

▶▶ 県独自 ◀◀ 6月補正予算

中東情勢の影響を受ける中小企業、農林水産業者等に対する価格高騰・供給不足への緊急支援

先行きが不透明な中東情勢に対するセーフティネットとして、
石油等由来製品の急激な価格高騰や供給不足に対する補助制度
を創設(予算額:約18億円)

◆補助率:① 1/2(仕入れ価格上昇対応)、② 3/4(設備投資補助)
◆補助額:① 10万円~50万円(農林水産業者)
15万円~100万円(中小企業等)
② 15万円~1,125万円(中小企業等)

9月から受付
開始予定

5月

省力化に向けた設備導入等への補助金

◆補助率:2/3(賃上げ実施の場合4/5)
◆補助額:15万円~1,000万円
(賃上げ実施の場合~1,200万円)

受付終了

申請件数
561件

先行きが不透明な中東情勢の影響を引き続き注視し、**先手先手の対策を実施**

⑨ 公共インフラの整備

幹線道路ネットワークの強化

- ・ 災害時の輸送路確保
- ・ 地域経済の活性化 等のため道路整備



令和7年度は
約11kmが完成

【令和7年度の主な供用路線】

路線名	開通区間	延長
主要地方道 越谷野田線バイパス線	松伏町田島地内	約0.4km
主要地方道 花園本庄線バイパス線	深谷市後棒沢～本庄市北堀	約2.8km
主要地方道 野田岩槻線	春日部市増戸～さいたま市岩槻区	約0.4km
都市計画道路 環状1号線	小川町青山～小川町腰越	約1.3km



【越谷野田線バイパスと国道4号東埼玉道路の同時供用】
(令和7年6月1日)



【花園本庄線バイパスの開通式】
(令和7年12月20日)

埼玉高速鉄道線(地下鉄7号線)の延伸

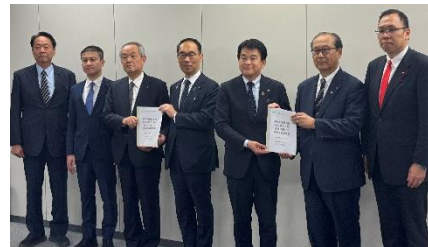
速達性向上計画素案の作成

- ・ 先行整備区間(浦和美園から岩槻)延伸の早期実現に向けた調査をさいたま市と実施
- ・ 鉄道事業者との協議・調整



鉄道事業者への事業実施要請

都市鉄道等利便増進法に基づく**鉄道事業者への事業実施要請**を実施



事業実施要請(令和8年3月)



鉄道事業者からの回答(令和8年6月)

➤ 今年度から環境影響評価や**都市計画決定に必要な調査に着手**

⑩ 暮らしの安全・安心の確保

警察官の増員

2年連続全国最多

・2年連続**全国最多**となる増員で、
全国の増員数の3分の1以上を占める

350人の増員

➤ 令和7年度 **175人**(全国476人)

➤ 令和8年度 **175人**(全国475人)



直近の国への増員要望

令和6年11月 国家公安委員長への増員を求める意見書を提出
総務大臣への増員を求める意見書を提出

令和7年11月 国家公安委員長への増員を求める意見書を提出
総務副大臣への増員を求める意見書を提出

警察官増員による負担状況の軽減 (R8.4.1現在)

条例定数	警察官1人あたり 人口負担	刑法犯認知件数負担
11,699人(令和7年)	623人	53,471件(令和7年中) 4.57件
→ 11,874人	→ 614人	→ 4.50件

※ 埼玉県人口:7,284,957人(R8.4.1時点)から人口負担を算出

匿名・流動型犯罪グループ及び外国人犯罪対策の強化

スマートフォン解析機器等の整備



＜イメージ＞画像、メール等の電磁的記録を抽出

防犯ビデオカメラ映像解析用ソフトウェアの整備

データ抽出・解析能力の強化
による捜査の迅速化・効率化

重要証拠の確実な確保
早期の犯人検挙・組織壊滅

トルコとの相互査証免除協定の一時停止にかかる要望

地域住民の不安の解消に向け、査証の経伺による
入国時のスクリーニングを求める要望を3度実施

要望実績

- 令和7年8月 外務大臣政務官への要望
- 令和8年1月 外務省中東アフリカ局長への要望
- 令和8年5月 外務副大臣への要望



堀井外務副大臣への
要望の様子
(令和8年5月)

九都県市合同防災訓練（埼玉県会場）

目的

防災関係機関相互の連携強化
住民の自助・共助の意識の高揚

日時

8月29日(土)8時30分～12時00分

※実動訓練は8時30分から11時15分まで
防災フェアは9時00分から12時00分まで

場所

熊谷スポーツ文化公園

主催



埼玉県



熊谷市

実動訓練統括

熊谷市消防本部

参加機関

94機関（県内消防本部、埼玉県警察、自衛隊、消防団、
自主防災組織、ライフライン事業者等）

一手先の備えが、
命を守る。

冷静 情報 連携 習慣 訓練 安全 食料 命

みんなで参加しよう!

第47回 九都県市合同防災訓練
令和8年度 埼玉県・熊谷市
総合防災訓練
8/29土 熊谷スポーツ文化公園 8:30～12:00

（主催）埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・愛知県・岐阜県・静岡県・長野県・富山県・石川県・福井県・山梨県・山形県・秋田県・岩手県・宮城県・福島県
（協賛）内閣府防災対策室（防災担当）

災害時その「正しい置き方」が
あなたを救う

防災の日・防災週間

九都県市合同防災訓練ホームページ
<http://www.pref.saitama.lg.jp/kyoumei/>

九都県市合同防災訓練（埼玉県会場）

実践的な防災訓練で連携強化を図る！

実動訓練

関東平野北西縁断層帯を
震源とする地震を想定
(熊谷市内 最大震度7)

- ▶ 陸上競技場からの避難誘導訓練
- ▶ 部隊による中高層建物救出訓練
- ▶ ヘリコプターによる孤立者救出訓練
- ▶ ライフライン事業者による復旧訓練 など



防災フェア

見て！体験して！防災を学ぼう！

- ▶ 50を超える団体が展示・体験ブースを出展。
防災を楽しく学べます！
- ▶ 消防・警察・自衛隊などの防災関係機関に
よる車両展示・体験搭乗！



訓練の様子はYouTubeでリアルタイム配信！

埼玉県九都県市合同防災訓練

検索



インターネット環境が
あればどこでも視聴可能！



災害への備えについてのお願い

イツモ防災

埼玉県 イツモ防災

検索

- 災害への備えを「**イツモ**」の生活の中で当たり前のこととして取り組む
- 命を守る3つの自助に加えて、携帯トイレと感震ブレーカーも備えましょう

【命を守る3つの自助】

家具の固定



3日以上の水・食料の備蓄



水 1人1日 3L
×
家族の人数分

災害用伝言サービスの体験



【携帯トイレ】



1人1日 約 5回
×
家族7日分以上

【感震ブレーカー】

感震ブレーカーとは、地震発生時に大きな揺れを検知すると、電気を自動的に遮断する機器です。



©文平銀座+プラス・アーツ

令和8年熊本地震への県の支援状況

令和8年熊本地震に対する県の支援状況は以下のとおりです（8月25日現在）

1 県の体制

7月28日 情報連絡室を設置

7月31日 広域応援統括・調整チームへ切り替え、全庁体制で支援

2 県の支援

（1）人的支援※派遣が終了した人員も含む

○ 避難所運営支援、住家被害認定調査・罹災証明書発行（熊本市） 72名

※県職員＋県内自治体職員の混成

○ DMA Tコーディネーションチームの派遣（熊本県） 7名

○ 災害派遣精神医療チーム（DPAT）の派遣（熊本県） 4名

（2）義援金（日本赤十字社を通じ、被災地へ送付）

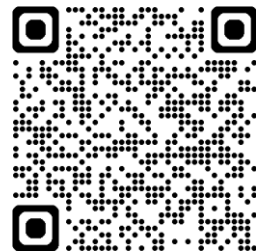
○ 県庁内に募金箱を設置（2箇所）、銀行口座振込みにより義援金を受付

○ 県営競技事務所にて、大宮双輪場、西武園競輪場に募金箱を設置

（3）その他

○ 「ふるさとチョイス」、「さとふる」にて熊本県のふるさと納税の代理寄付受付を開始

【義援金の詳細はこちら】



秩父地域の救急医療体制の支援事業を開始します

- ・ 秩父地域の輪番病院では、若手医師が中心となって救急対応を行っており、幅広い症例に対する経験不足が課題
- ・ 同地域は医療資源が少ないため、高度な処置等を要する場合、地域外への転院搬送が必要

秩父地域の輪番病院を支援し、同地域の救急患者が迅速に必要な医療を受けられる体制を構築する

遠隔コンサルテーション体制の構築

秩父地域の輪番病院で救急医療を担当する医師が県内の外部医師に対し、オンコールで相談(電話・オンライン)を行える体制を整備

県から協力医療機関に委託



【協力医療機関】

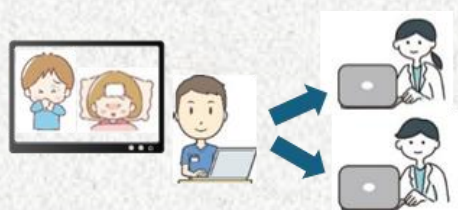
- ・ 埼玉医科大学病院
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター
- ・ 県立小児医療センター

8/24～
事業開始

小児救急研修の実施

秩父地域で小児救急に従事する医師を対象として、小児救急に関する知識及び診療能力の向上を目的としたオンライン研修を実施

県から協力医療機関に委託



【協力医療機関】

- ・ 埼玉医科大学病院
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター
- ・ 県立小児医療センター

9月下旬～
開始予定

転院調整体制の構築

秩父地域の輪番病院では対応できない手術又は処置を必要とする患者について、円滑に転院調整できる体制を整備

県から協力医療機関に委託



8/24～
事業開始

【協力医療機関】

- ・ 埼玉医科大学病院
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター
- ・ 深谷赤十字病院
- ・ 関東脳神経外科病院
- ・ 県立循環器・呼吸器病センター
- ・ 県立小児医療センター